

近年、パソコンなどをつくったり、さまざまなソフトウェアを開発したりする技術である( 1 )が発達しました。その結果、私たちの周囲に情報があふれます。また、情報は産業や生活の中で今まで以上に重要な要素となりました。このような社会を( 2 )といいます。

たとえば、病院では患者の情報(カルテ)をパソコンに保存し共有する( 3 )が導入されました。

さらに、遠く離れた病院どうしをインターネットでつなぎ、患者の情報を見ながら治療について指示を受けたり、医師同士が相談しあう( 4 )も広まりつつあります。

情報は防災でも生かされています。地震が起きた時、強い揺れがくることを素早く知らせる( 5 )も情報を防災に活かした例です。

しかし、( 2 )は個人情報危険にさらされる社会でもあります。インターネットなどを利用した、サイバー犯罪に一般の人が巻き込まれることが増えているのです。

問1 上の文章( )に適することばをいれましょう。

1	情報通信技術 (ICT)	2	情報(化)社会	3	電子カルテ
4	遠隔医療 (えんかくいりょう)	5	緊急地震速報		

問2 下線1について、サイバー犯罪の具体的な例を書きましょう。

コンピュータウイルスの被害にあう、インターネット上でサギにあう など

問3 年齢や所得、地域などの差により情報を利用する機会に差ができてしまうことを何というか答えましょう。

デジタルデバイド(情報格差)